



和歌山県PRキャラクター きいちゃんの ワンダフルわかやま

和歌山のすばらしいモノや地域の自慢などを「きいちゃん」が紹介します！
今回は、開港50周年を迎えた「南紀白浜空港」についてご案内します。

今年、開港50周年を迎え、さまざまなイベントが開催されます。4～6月に写真・新聞記事・航空会社提供品などの空港歴史展、6～8月に「空港の魅力」をテーマにフォトコンテスト、秋には航空ショー(空の日フェスタと同時開催)などが予定されています。



飛行機の利用はもちろん、施設内には展望デッキやレストラン、無料駐車場も完備されているので気軽に見学に来てね！
これからも国内外の観光客などの皆さんにどんどん利用してもらいたいワン！

開港50周年を迎えた南紀白浜空港



開港50周年を迎えた南紀白浜空港。白浜と東京(羽田空港)を結ぶアクセス拠点として南紀地方のビジネスや観光に大きな役割を果たしてきました。平成8年には、旧空港の東隣に1,800mの滑走路を備える空港として新たに開港し、東京便のジェット化により利便性が飛躍的に向上。さらに平成12年、就航機材の大型化や海外チャーター便に対応できるよう2,000m滑走路を持つ空港となりました。現在1日3往復白浜と東京を約70分で運航しています。



▲YS-11型機



▲開港当時のターミナル



◀平成8年3月8日 さよならYSセレモニー



◀平成8年3月9日 新空港供用開始(滑走路1,800m) 東京便就航(MD-87型機)2往復

問 県庁港湾空港振興課 ☎073-441-3156

県政トピックス

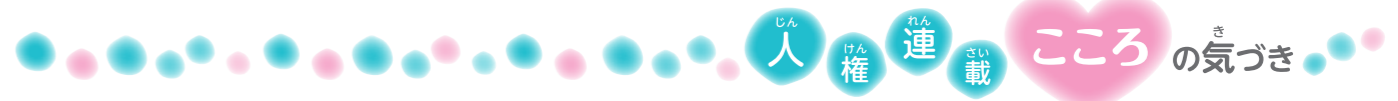
平成30年度 組織改正のポイント

本県を取り巻く環境変化や新たな政策展開に的確に対応する効率的な組織を構築するための改正を行いました。

問 県庁行政改革課 ☎073-441-2132

主な改正内容

- 4月開設の「和歌山県データ利活用推進センター」を運営していくため、企画総務課にデータ利活用推進班を設置
 - 企画総務課
 - 総務班
 - 計画第一班
 - データ利活用推進班
 - 地域プロジェクト対策室
- 2019年開催の全国健康福祉祭(ねんりんピック)の準備を本格化するため、ねんりんピック推進室をねんりんピック推進課および式典・事業室に再編
 - ねんりんピック担当参事
 - ねんりんピック推進課
 - 総務企画班
 - 宿泊・輸送班
 - 式典・事業室
- 国際会議である「世界津波の日」高校生サミットの開催準備および運営を行うため、国際課に世界津波の日高校生サミット推進室を新設
 - 国際担当参事
 - 国際課
 - 国際企画班
 - 国際交流班
 - 旅券班
 - 世界津波の日高校生サミット推進室
- 少子化対策として、子育てしやすい環境づくりをより強力に推進していくため、子ども未来課の子育て支援班を子育て支援班と保育班に再編
 - 子ども未来課
 - 児童福祉班
 - 家庭福祉班
 - 子育て支援班
 - 保育班
- 4月から県が財政運営の責任主体となる国民健康保険制度を適正に運営していくため、国民健康保険課に保険指導班と国民健康保険班を設置
 - 国民健康保険課
 - 保険指導班
 - 国民健康保険班



ホームからの転落事故を防ぐために

見守り、声かけ、思いやり

問 県庁障害福祉課 ☎073-441-2530

視覚障害のある人が駅のホームから転落して亡くなる事故が発生しています。視覚障害のある人にとって駅のホームや歩道のない道路は、常に危険と隣り合わせの状況です。目を閉じて欄干のない橋を渡ることを想像すると、いかに危険な状況であるかがお分かりいただけると思います。ホームドアの整備や内方線付き点状ブロックの設置が進められていますが、これらの安全対策が行き渡るには時間が必要です。それまでの間、一番の安全対策となるのは駅係員さんや駅を利用する皆さんの思いやりです。

鉄道会社では、駅で配慮が必要と思われる人をお見かけした時、駅係員さんは声かけを行ったり、乗車するまで見守ったりするなど、安全な駅づくりに取り組んでいます。

皆さんも白杖を使用している人や盲導犬を連れてくる人を見かけられた際は、見守り、状況に応じて声をかけるなど、温かい思いやりとほんの少しのサポートをお願いします。